

No. 6

小学生向け医薬品の適正使用に関する 学習アプリ開発事業 ～若年層のオーバードーズを防ぐために～

0.3億円程度
(事業期間3年間)

若年層による医薬品の過量摂取（オーバードーズ）を防ぐために、小学生が発達段階に合わせて、医薬品の適正使用について楽しく学べる学習アプリを開発し、効果検証をする。

実態調査

- 小学校での医薬品の教育実態を明らかにする
- 小学生の医薬品の知識及び認識を明らかにする

アプリ開発

- 医薬品の適正使用を学ぶアプリを開発する
- 学校に配置してあるタブレット端末で利用できるようにする

効果検証

- 学習前後の教育効果を検証する
- 予備調査と本調査を行う
- 都内全小学校へ普及する



- **小学生に対する医薬品の適正使用に関する教育は、ほとんど実施されていない**
 - ・ 小学生の学習指導要領には、医薬品の適正使用に関する教育の記載がない。
 - ・ 他の授業も多く、授業時間を確保することは難しいという意見もある。
 - ・ 一方、小学生から学ぶ事は、薬に関する理解度の向上に繋がると報告されている。
- **学習アプリを開発し、都内の全小学生が医薬品の適正使用を学べる環境を作る**
 - ・ 小学生向け医薬品の適正使用に関する学習アプリを開発する。
 - ・ 授業時間に関係なく、各学校に配布されているタブレット端末で学べるようにする。
 - ・ 学習の前後でアンケートを行い、効果の検証をする。

事業実施による効果

- ・ 現在、社会問題となっている若年層によるオーバードーズを防ぐ。
- ・ 児童が医薬品の適切な知識を身に付けることにより、将来の医療費削減に繋がる。